

受付番号	11	受付月日	5月30日
		午前・午後	2時27分

東郷町議会議長 加藤宏明 殿

東郷町議会議員 会派名 日本共産党東郷町議員団  
議席番号 15番 氏名 門原武志

## 一般質問通告書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3-1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 町の情報発信について	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症の状況に関する情報発信について            ア 町内の感染状況についての情報発信の方針について伺う。            イ 町が管理する施設での感染状況についての情報発信の方針について伺う。</p> <p>(2) 町の方針や新規施策などの発信について            ア 町ホームページ、広報とうごう、回覧板、報道機関への連絡、議員への連絡など、町の方針や新規施策などについての発信方法にはどのようなものがあるか。            イ 新型コロナウイルス感染症に関しては「町長（東郷町新型コロナウイルス感染症対策本部長）からのメッセージ」があり、町ホームページへの掲載や「東郷町地域安心メール」での発信がされている。この他に町長の名前で行う情報発信にはどのようなものがあるか。</p> <p>(3) 町長が行う記者会見について            ア 記者会見を行う必要性はどのように判断するのか伺う。            イ 記者会見を行う旨の情報発信について伺う。            ウ 記者会見の会場に入れる人数には限りがあるが、人数が多い場合はどのように希望に応じるのか。            エ 記者会見の模様を町内外に発信することについて考え方を伺う。</p>	町長 教育長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
2 聴覚障害者の意思疎通について	<p>(1) 役場庁舎での手話通訳者の配置について          ア 現状について伺う。          イ 庁舎開庁時間帯には毎日必ず手話通訳者を配置する必要性への認識を伺う。</p> <p>(2) 町が町内や近隣市にいる手話通訳者を把握することについて          ア 災害発生時などには県内の聴覚障害者団体等を通すことなく、直接、町の担当者が手話通訳者と連絡を取り、必要な対応を取ることが重要だと考えるが、町の見解は。          イ 普段から手話通訳者を把握するとともに、その育成に努めることは、いざというときに手話通訳者が不足するということを防ぐために必要だと考えるが、町の見解は。          ウ 聴覚障害者が自分の希望に応じて手話通訳者の派遣を依頼できるようにすることについて、町の見解は。</p>	町長 担当部長
3 所信表明について	<p>(1) 30人学級、少人数授業について          ア 国が今年度から5年かけて小学校を35人学級にする方針で、県は今年度から小3も35人学級にしている。町はどのように30人学級を実現する方針か。          イ 30人学級と少人数授業の実現へ、どのように教員を確保するのか。          ウ 「教員の働き方改革の実践が期待できる」と述べたことについて          (ア) 学校図書館司書教諭補助員など教員に授業やその準備などに専念してもらうための職員を配置する効果について伺う。          (イ) 学校の施設や設備の修繕に必要な業務は誰が担っているのか。          エ 「(仮称) とうごう学び舎」には高齢者が元気に過ごせる場として期待するが、今後、35人学級、30人学級、少人数授業も進められる。教室の確保についてどのように考えるか。</p>	町長 教育長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>(2) 「未来を見据えたまちづくり」から  ア 「桜並木をつくり、キレイで歩きたくなるような街を整備していきたい」とのことだが、道路では草が伸び放題などとの苦言が住民から届くという現状がある。これは道路に限ったことではなく、公園、学校など公有地、河川敷でも課題だと考える。道路、公園、学校など管理する部署が分かれているのが現状だが、草刈りや剪定などを一括して管理する仕組みが、印象の良い街並みをつくるために役立つと思うが、町長の見解は。  イ 愛知池周辺の資材置き場や太陽光発電所などをこれ以上ふやさず、森林と風光明媚な水辺環境を守るために策について伺う。  (ア) 現行制度で出来ることについて  (イ) 将来に向けて取り組むべき課題</p>	

(注) 要旨は、具体的に記載すること。